

商品開発による地域活性化



益満 環

Tamaki Masumitsu

准教授 博士（経営学）

教育文化学部地域文化学科 地域社会・心理実践講座

研究キーワード

マーケティング、商品開発、産学官連携、地域活性化、シティプロモーション

研究概要

地域活性化を目的に商品開発を行っています。具体的には、地域ブランドの価値向上を目指し、大仙市内の5つの酒蔵（出羽鶴、刈穂、秀よし、千代緑、金紋秋田）、秋田大学、大仙市から成る産学官連携で日本酒「宵の星々」を造っています。国内では珍しく、酒米の育苗・田植え・稲刈りを経て、酒蔵での醸造、さらには製品化した日本酒の販売・PRまですべての工程について携わっています。単に、日本酒を開発するのではなく、地元秋田の経済活性化につながるようマーケティングの国内外の事例を活用しながらゼミ生とともに活動しています。その結果、大手通販サイトの吟醸酒部門では販売数第1位になるなど大変好評を得ています。

その他、主に以下の機関と商品開発やシティプロモーション活動で連携中または連携した経験があります。横手市、横手やきそば暖簾会、ソフトバンク（株）、楽天グループ（株）、石巻市、登米市、石巻信用金庫、武藤工業（株）、今野梱包（株）、秋田テレビ（株）、秋田朝日放送（株）、FMはなび、かまくらFM、宮城県立石巻商業高等学校、秋田県立大曲高等学校など。



田植え作業



稲刈り作業



搾り作業



東京での販売会



YouTube動画



テレビCM

予想される応用例

各種商品開発の企画・販売・PR
日本酒業界以外の業界での産学官連携

産業界へのアピールポイント

商品開発のアイデアの提供および産学官連携による商品開発および各種メディアを活用したPRのノウハウを提供できます。